

徳島県企業局経営計画(改定版)の概要



1 改定の趣旨

平成29(2017)年度から令和8(2026)年度までの10年間を計画期間とする現計画を引き継ぐものとし、現計画の中間年に当たり、社会経済情勢の変化に的確に対応するため、計画の見直しを行う。

2 取組の方針（改定の必要性）

- (1) 企業局が保有する資源・機能を活かした地域社会の発展につながる経営の推進
⇒ **地方創生の実現**
- (2) 世界的な課題となっている「脱炭素社会の実現」や水力や太陽光等の「多様な自然エネルギー」を活用した効果的な施策を展開
⇒ **G X(グリーントランスフォーメーション)の推進**
- (3) コロナ禍により社会行動やシステムが大きく変容する状況のもと、先端技術を積極的に活用した業務の効率化を推進
⇒ **D X(デジタルトランスフォーメーション)の実装**

3 企業局を取り巻く環境の変化の見通し

- (1) 人口減少社会への対応
- (2) 南海トラフ巨大地震や激甚・頻発化する豪雨災害への対応
- (3) 設備機器の維持管理・パフォーマンスの発揮
- (4) 電力市場への柔軟な対応
- (5) 2050年脱炭素社会の実現
- (6) D Xを活用した業務の効率化

4 改定に当たって

- (1) G X、D Xの新たな視点を織り込む
- (2) 既に完了した取組項目の削除や移行
例：完了した津波浸水対策や防災備蓄倉庫整備は、危機管理体制の強化へ移行

5 計画を実現させる取組み

(1) 社会貢献の加速（項目数：15→16）

- 拡充** 市町村と協働した小水力発電の導入
- 新規** 地域資源に着目した自然エネルギー導入への技術支援
- 拡充** カヌー・S U Pの拠点施設の有効活用
- 新規** 水素をはじめとする多様な自然エネルギー学習機会の提供
- 拡充** I C Tを活用した出前授業の実施
- 拡充** S N S等各種媒体を活用した情報発信 等

(2) 安全安心の確保（項目数：17→11）

- 拡充** 工業用水道管路の耐震化（第2次管路更新計画）の推進
- 新規** 日野谷発電所大規模改修による長寿命化・強靱化対策の実施
- 新規** AI・IoTを活用した点検業務のスマート化
- 拡充** 災害時の電力供給等、防災・事故復旧訓練の実施 等

(3) 経営力の強化（項目数：23→26）

- 拡充** 川口・勝浦発電所の発電能力の最大限活用
- 新規** 日野谷発電所大規模改修に合わせた出力の増強
- 新規** 売電収入の安定的な確保
- 新規** 藍場町地下駐車場へのA I・I o T導入による機能向上
- 新規** 民間ノウハウを活用した駐車場サービスの向上
- 新規** 電子決裁システムの利用促進、出産・育児に伴う休暇取得促進など、働き方改革の推進 等

1 電気事業

(1) 投資計画

○建設改良費

- ・ 運転開始から60年以上経過した各発電所の老朽化対策を計画的に実施

主な改良工事

箇所名	工事名	R4	R5	R6	R7	R8
日野谷発電所	山側法面補強				→	
	発電機オイルクーラー更新（3号）	→				
	発電機オイルクーラー更新（1号）				→	
川口発電所	川口寮建替		→			
	川口ダム洪水吐ゲート巻上機取替（6号）				→	
	川口ダム洪水吐ゲート巻上機取替（4号）					→
勝浦発電所	棚野ダム自動制御装置取替	→				
	固定子更新、励磁装置更新					→

○修繕費

- ・ 計画的に水車発電機等の機器点検及び修繕を実施し、電力の安定供給を確保

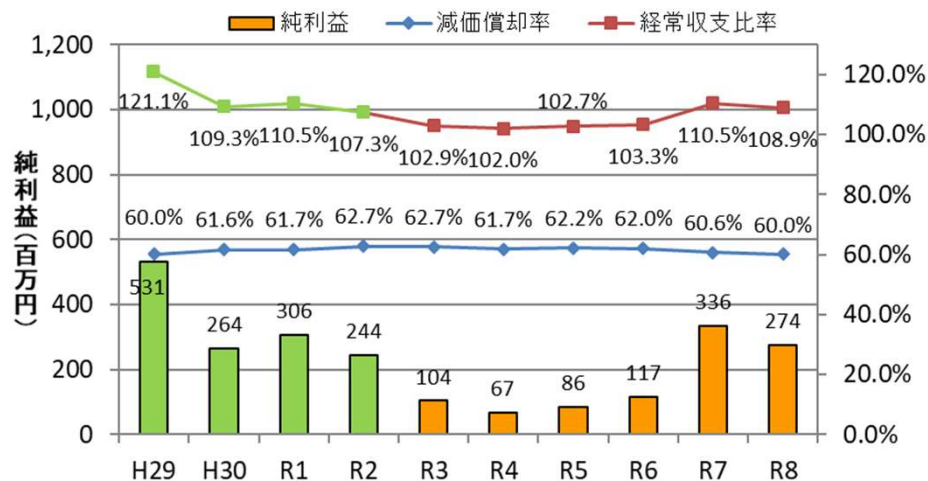
主な修繕工事

箇所名	工事名	R4	R5	R6	R7	R8
水力発電	日野谷発電所	水車発電機内部点検手入れ（3号）	→			
		水車発電機内部点検手入れ（1号）				→
		水路橋内面塗装			→	
		水圧鉄管内面塗装			→	
	川口発電所	水車発電機内部点検手入れ（1号）			→	
	勝浦発電所	水車発電機内部点検手入れ				→
	総合管理推進センター	水力発電集中監視制御システム補修		→		
太陽光発電	マリンピア沖洲太陽光発電所	空調設備取替		→		
		パワーコンディショナ補修		→		
	和田島太陽光発電所	空調設備取替			→	
		パワーコンディショナ補修			→	

(2) 収支見通し

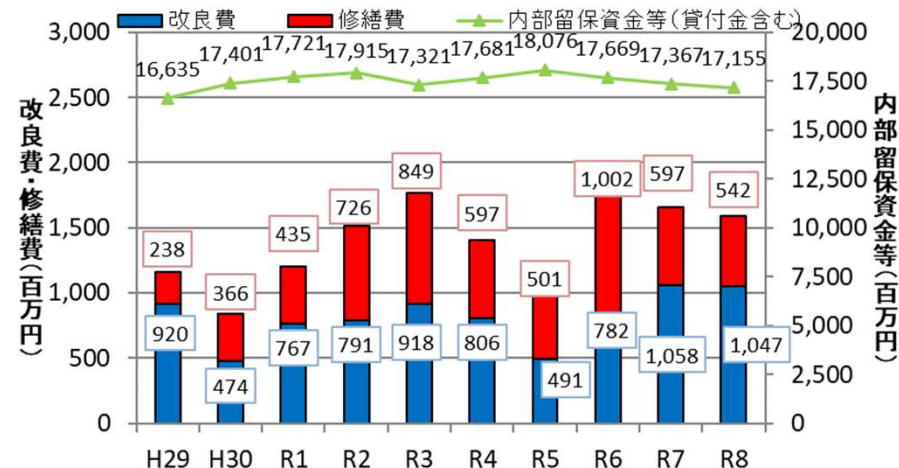
○経営指標の見通し

- ・ 計画的な事業運営により、経常収支比率100%以上を維持
- ・ 計画的な老朽化対策により、減価償却率は現行水準を維持



○投資額と財源の見通し

- ・ 老朽化対策等に多額な費用を要するが、計画的に実施することにより、令和8年度末内部留保資金等は約172億円を見込む
- ・ 将来的な日野谷発電所のリニューアル計画に向け、投資財源を確保



2 工業用水道事業

(1) 投資計画

○建設改良費

- ・南海トラフ巨大地震対策として、管路の耐震化や電気機械設備の老朽化対策を計画的に実施

主な改良工事

箇所名	工事名	R4	R5	R6	R7	R8
吉野川北岸工水	今切第一配水支管布設替	→				
	今切配水本管西延伸事業		→			
	取水ポンプ制御盤取替	→				
	脱水機設備改良			→		
	修理工場・資材倉庫建替			→		
	予備電源設備取替				→	→
	監視制御システム取替				→	→
阿南工水	辰巳配水支管布設替			→	→	
	送水管布設替					→
	電動制水弁取替	→				

○修繕費

- ・計画的に施設・設備の機器点検及び修繕を実施し、工業用水の安定供給を確保

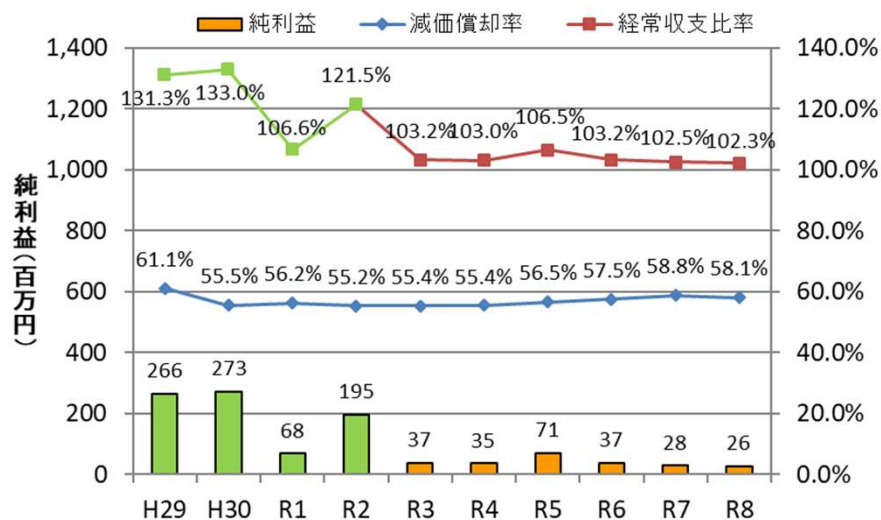
主な修繕工事

箇所名	工事名	R4	R5	R6	R7	R8
吉野川北岸工水	配水ポンプ内部点検手入れ	→	→			
	取水ポンプ・電動機内部点検手入れ	→	→			
阿南工水	送水ポンプ・電動機内部点検手入れ(2号)	→				

(2) 収支見通し

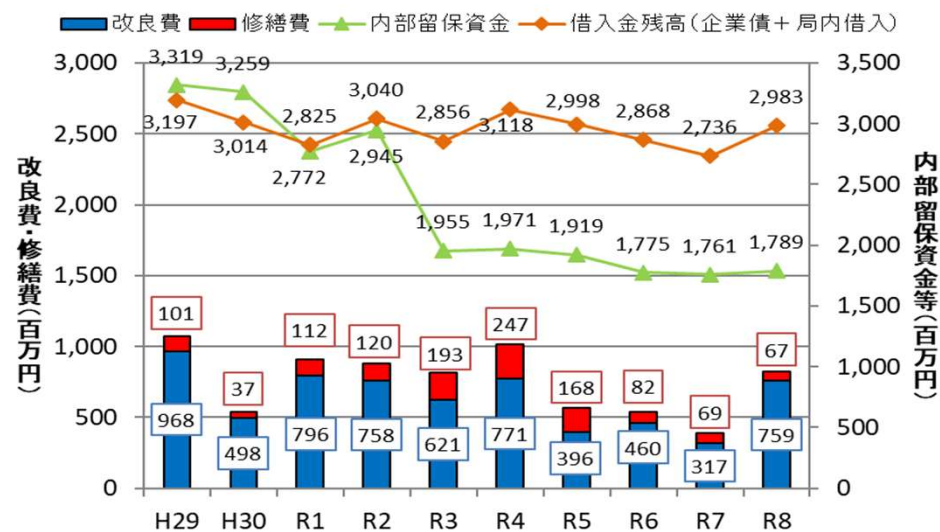
○経営指標の見通し

- ・計画的な事業運営により、経常収支比率100%以上を維持
- ・計画的な老朽化対策により、減価償却率は現行水準を維持



○投資額と財源の見通し

- ・令和4年度までの集中投資期間については、財源確保のため借入額の増加と内部留保資金が減少
- ・令和5年度以降、投資額の減小に伴い、計画的に借入金の償還を進めるとともに、内部留保資金約18億円を確保

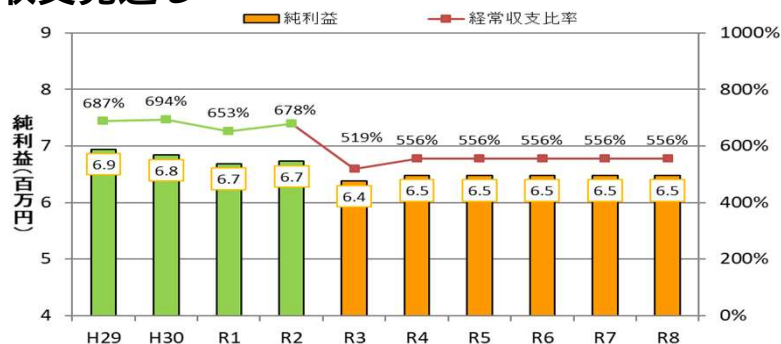


3 土地造成事業

(1) 投資計画

・内部留保資金を活用し、工業用水道事業等への長期貸し付けを計画

(2) 収支見通し



4 駐車場事業

(1) 投資計画

○建設改良費

・設備更新に併せ利便性向上策を織り込んだ老朽化対策を計画的に実施

主な改良工事

箇所名	工事名	R4	R5	R6	R7	R8
藍場町地下	新料金計算装置(車番認識システム)導入		→			
	自動車管制装置等取替				→	

○修繕費

・計画的に施設・設備の修繕を実施し、安定した事業運営を確保

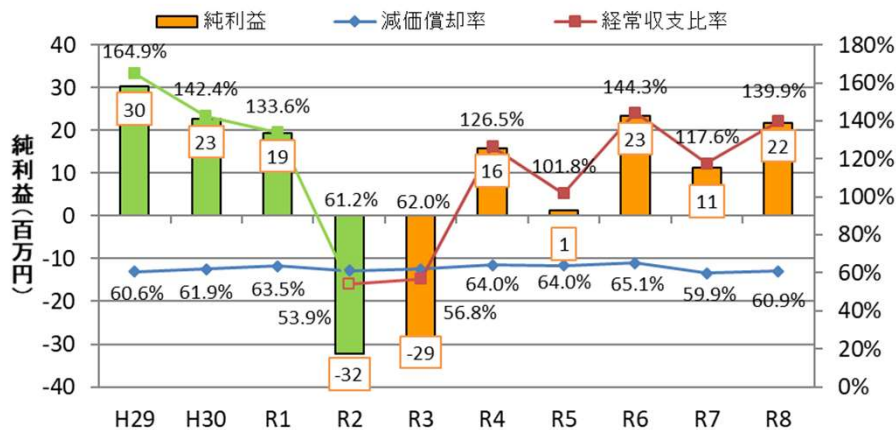
主な修繕工事

箇所名	工事名	R4	R5	R6	R7	R8
藍場町地下	排煙ファン補修			→		
松 茂	区画線補修		→			

(2) 収支見通し

○経営指標の見通し

・利用台数の確保と経費の削減により収益を確保



○投資額と財源の見通し

・内部留保資金は令和8年度末で約7億円を見込み、老朽化した施設・設備の投資財源として確保

